

お知らせ

 岡山県立博物館	
担 当 者	内池
電話番号	内線：5015 直通：086-272-1178

龍口城主礧所与一（職経・元常）のために作られた短刀を展示しています！

岡山県立博物館では、龍口城主であった礧所与一^{さいしよ}のために作られた短刀を8月24日（日）まで、1階展示室にて展示します。

礧所与一は、龍口城主として、岡山平野に勢力を持っていた人物で、金川城松田方として活動していたことは、これまでもわかっていました。この短刀の発見により、礧所氏が優秀な刀工清光に作刀を依頼できるだけの権威・権力を有していたことが、改めて説明できることとなります。

清光は、この時期の刀工の中でも優秀で、「五郎左衛門尉」と銘を付けているので、入念に作った作品であることがわかります。同時代には、いくつかの刀工グループが長船にはありましたが、清光は、金川城（岡山市北区金川）の松田氏やその家臣らに、刀を作っていました。

なお、この短刀は、今年度に入って岡山県立博物館に依頼された調査の中で、岡山県内で発見されたものです。

- <資料名> 短刀 銘 長船清光
- <表 銘> 備前國長船五郎左衛門尉清光 礧所与一作之
- <裏 銘> 天文十六年二月日
- <長 さ> 18.6cm
- <反 り> なし



短刀 銘 長船清光



茎（なかご）に書かれている銘文

※2階展示室では、テーマ展「学び、つながる江戸時代の人びと」を開催